

日本農業賞 集団組織の部 岩村営農が優秀賞 若者に選ばれる職場へ努力

恵那市岩村町の岩村営農が、第50回日本農業賞（NHK、全国農業協同組合中央会など主催）の集団組織の部優秀賞に輝いた。若者が働きやすい環境づくりに

力を入れ、中山間地域の水稲生産を引っ張る点が評価された。岩村営農は2008年設立。スマート農業を取り入れたほ場管理を実践し、同

町を中心に約70畧の農地で米づくりに励む。農繁期でも土、日曜日に休めるようにして若者に選ばれる職場環境づくりに努め、構成員8人のうち3人が20代と平



日本農業賞で優秀賞を受賞した岩村営農の社員ら
＝中津川市茄子川、JAひがしみの本店

均年齢が若い。草刈り作業のアルバイト「草刈り応援隊」を組織し、人材の確保も図っている。

16日に中津川市茄子川のJAひがしみの本店で表彰状の授与式があった。JA岐阜中央会の松永政人専務理事が杉浦榮治代表(62)に表彰状を手渡した。JAひがしみの細江成徳代表理事組合長は「全国での表彰は管内では初めてで、大変うれしく思う。他の営農組

合の目標になる存在になる」とたたえた。杉浦代表は「社員の生活が成り立つように、地域の農業を守れるように今後も続けていきたい」と話した。

(青山和史)